

第10回 井上宇市記念賞(3件)

(目的) 空気調和設備および環境工学分野に関する開発、設計、施工、研究、教育に特に貢献のあつた個人を表彰し、本分野の将来を引き続き担う人材を育成することを目的とする。加えて、アジア地域で活躍する技術者、研究者を表彰し、アジアにおける本分野のさらなる発展を図ることを目的とする。

井上宇市記念賞

受賞者	郡 公子 (宇都宮大学地域デザイン科学部 教授)
受賞業績	建築総合エネルギー評価のための熱シミュレーション理論と実用化の研究
推薦理由	<p>郡公子君は、長年にわたり建築と空調システムの性能評価のための熱計算理論及び空調設計や省エネルギー技術の理論・技法を中心に研究し、その最新の成果は建築総合エネルギーシミュレーションツール BEST に熱平衡解法や建築熱計算法として導入され、HASPEE、NewHASP、MICRO-PEAK/2010、最大熱負荷計算法に関する本会規格(HASS112、SHASE-S112)でも実用化を果たした。その業績は本会論文賞、技術賞、功績賞、また、日本建築学会賞(論文)、同(技術)、文部科学大臣表彰科学技術賞などを多数受賞した。本会においては、数多くの論文・技術報告・論説・報文及び出版物により多大な学術的貢献をすると共に、各種委員会の幹事・委員を歴任し、学会の運営と発展に大きく貢献した。</p> <p>よって、ここに井上宇市賞を授与する。</p>

井上宇市記念賞

受賞者	白木 一成 (大阪ガス株式会社)
受賞業績	学会運営及びエネルギー設備分野における貢献
推薦理由	<p>白木一成君は、本会理事及び学会誌委員会委員長、出版委員会委員、ASHRAE 冬季大会視察団副団長などを歴任し、学会運営に多大な貢献があった。近畿支部においては総務幹事・会計幹事及び能力開発委員会委員長などで支部活動にも尽力された。また、建築物のエネルギーシステムの省エネルギー性、環境性評価に関する研究開発業務を行い、本会の「都市ガスコージェネレーションの計画・設計と運用」及び「新版都市ガス空調のすべて」の出版にあたり検討委員会の運営、編集とりまとめの作業を行い、コージェネレーションシミュレーションプログラム「CASCADE-IV」の開発においてはプログラム開発を通して本会の学術的活動にも大きく貢献した。</p> <p>よって、ここに井上宇市賞を授与する。</p>

井上宇市記念賞アジア国際賞

受賞者	Chungyoon Chun (大韓民国 延世大学室内建築学科 教授)
受賞業績	室内温熱環境の快適性評価に関する国際的な業績
推薦理由	<p>Chungyoon Chun (ジョン ジョンユン) 君は、空気調和・衛生工学分野において、韓国国内では各種学術団体の委員、プロジェクトマネージャーを務めて多数の賞を受け、国外においても ISIAQ (International Society of Indoor Air Quality and Climate) 副委員長、Indoor Air 2020 (International Conference of Indoor Quality and Climate) 学術委員長、IEA Annex69 委員、ASHRAE Thermal Comfort Database II Project 実行委員、国際雑誌の客員編集者など、幅広い国際的活動を行っている。日本で学位を取得した Chun 君は横浜国立大学助手、日本建築学会関東部委員を歴任し、我が国の研究者とも親交が深い。これからのアジア地域と本会の関係を仲介する極めて重要な役割を果たす人物である。</p> <p>よって、ここにアジア国際賞を授与する。</p>